

体が、こころが、喜ぶ。

あさ GO

けんこう 健幸

ウォーキングのすすめ

竹田城下町周遊コース 距離:3.7km



【竹田城跡】

竹田城の始まりは、嘉吉年間(1441-1444年頃)に当時の但馬守護・山名宗全が配下の太田垣氏に命じて築かせたのが始まりである。その後、山名氏の重臣である太田垣氏が初代・光景(誠朝という説あり)以下7代に渡って城主を務めた。しかしながら、天正8年(1580年)羽柴秀吉(後の豊臣秀吉)による但馬攻めにより、竹田城は落城、太田垣氏も没落したと考えられている。

その後、桑山重晴が城主となった後、天正13年(1585年)播磨龍野城主であった赤松広秀が朝来郡2万石で入城する。現在に残る石垣遺構は、広秀が城主の頃に整備されたと考えられている。また、広秀は「仁政の主君」として領民から慕われていたとされている。



【表米神社】ひょうまいじんじや 格技を好んだと言われる表米宿祢命(ひょうまいすくねのみこと)を祀り、境内には全国的にも珍しい「半円形石積段型棧敷」という、土俵を囲み半円状に六段の石が積み重ねられ相撲観戦用棧敷席がある。県の文化財にも指定されており、正面には舞堂もあり、歌舞伎の見物などにも使われたのではないかと考えられている。

【問い合わせ先】

朝来市健幸づくり推進課 健康増進係 電話：079-672-5269 ファックス：079-672-5369

コースの紹介

健幸ウォーキングのポイント

このコースは、円山川沿いの桜並木と川の流れを楽しみながら歩くことができます。平坦な道ですが、樹木の間隔を利用して早く歩いたり、歩幅を広くして歩いたりスピードを調節しながら歩く事ができます。国道312号線の歩道から竹田城跡を眺めてみることができます。寺町通りは、古城山のふもと、4軒の竹田城に縁のある寺と表米神社が並ぶ約600mの区間は歴史散策路として親しまれています。白壁の塀や錦鯉が泳ぐ小川、松並木などが目を楽しませてくれます。表米神社の石段を上がっていくのは、少し疲れますが、上がってから振り返って竹田の町を一望してください。

- ### コースの道順
- スタート**
- ①竹田まちなか観光駐車場出発
 - ②竹田市民会館裏道から円山川沿いの道へ
 - ③桜並木 川沿いの歩道を歩く
 - ④加都橋 加都橋を渡り国道へ
 - ⑤諏訪橋 諏訪橋を渡り竹田こども園へ
 - ⑥竹田こども園前を曲がり細道を抜ける
 - ⑦竹田駐在所を曲がる
 - ⑧寺町通りへ
 - ⑨虎臥城公園 公園で一休み
 - ⑩表米神社 階段を上り神社へ 竹田を一望し「ヤッホ！」
- ゴール**
- ①竹田まちなか観光駐車場へ



【桜並木】

円山川沿いの桜並木は4月が一番美しいが、5月は新緑、6月は紫陽花が咲きそろう。秋は鴨などの水鳥も観察でき、四季折々の楽しみがある。川向こうの国道312号線から竹田城跡を眺めながら歩くのも風情がある。